

ポイント

◆◆特集◆◆

★荷路夫バイパスエコロード計画について★
(福島県 いわき建設事務所 事業部 道路課)

環境への負荷をできるだけ少なくするため、動植物の生態系など自然環境に配慮した「荷路夫エコロード」整備を行いました。

「荷路夫エコロード」整備にあたり、地域住民やNPOと連携を図り、また、地域の資産として有効に活用されていくよう、身近な自然との共存や共生を地域の人々とともに考えながら取り組んできた事例を紹介します。

★横浜横須賀道路「自然にやさしいみちづくり（エコロード）」
の取り組みについて★
(東日本高速道路株式会社 関東支社 技術部 技術企画課)

横浜横須賀道路の整備は、まさに「自然にやさしいみちづくり（エコロード）」の歴史であり、自然環境や生活環境を保全するための様々な工夫がなされています。約30年の歳月を越えて続けられている横浜横須賀道路の「自然にやさしいみちづくり」のこれまでとこれからを紹介します。

◆◆道路法令Q&A◆◆

★自動車専用道路制度について
(国土交通省 道路局 路政課)

自動車専用道路制度について解説する。

◆◆TOPICS◆◆

★オフィス街ロードクリーン2010★
(国土交通省 道路局 国道・防災課)

平成22年8月3日(火)、霞ヶ関及び虎ノ門に勤務されている方々のボランティアにより、勤務地周辺の国道・都道・区道を清掃する「オフィス街ロードクリーン2010」を実施しました。

当日は、約1,200名余りの方々にご協力をいただき、歩道の清掃を行った結果、約10m2余りのゴミや枯葉、雑草を回収しました。

◇◆地域における道路行政に関する取組み事例◆◇

★「道路ふれあい月間」に各事務所が実施した各種運動について★ (国土交通省 北陸地方整備局 道路部 路政課)

「道路ふれあい月間」(8月1日～8月31日)にあたり、道路利用者の皆様に、道路の役割や重要性を再認識して頂くことや、道路の正しい利用について理解して頂くこと等を目的に北陸地方整備局の各事務所において実施した、各種運動の一部を紹介いたします。

★山口県の道路におけるボランティア支援制度について★ (山口県 土木建築部 道路整備課 路政班)

地域の方々のボランティア活動による道路等の環境美化活動が広まりつつある中、より一層のボランティア活動の活性化、道路に関する地域環境の向上及び道路愛護精神の普及を図る目的から、山口県で実施している「やまぐち道路愛護ボランティア支援制度」、「山口県きらめき道路サポート事業」の2つのボランティア支援事業について紹介します。

★橋梁長寿命化修繕計画と橋梁点検の取り組み★ (山口県 土木建築部 道路整備課 整備班)

橋梁長寿命化修繕計画の策定は全国的に進められており、山口県でも鋭意取り組んでいます。計画策定には橋梁の健全度把握が不可欠であり、橋梁点検は健全度把握のための基本かつ重要な作業になります。そこで、人材育成を含めた橋梁点検の体制づくりを進めています。本稿では、山口県の橋梁長寿命化修繕計画と橋梁点検の取り組みをご紹介します。

★下関市の道路管理と歩行者の安全確保について★ (下関市 建設部 道路課)

下関市は、平成17年に一市四町が合併し新しい下関市となりました。その中で地域に応じた道路管理をするとともに、歩行者の安全確保について取り組んでいます。また、下関市が管理している2つの施設について紹介します。

◇◆取組み紹介◆◇

★情報化社会における道路の有効活用部会の報告概要★

～新道路利活用研究会～

((財) 道路新産業開発機構 調査部)

高度情報化社会の実現を支援するため、主に民間事業者にとっての効率的な設備投資の実現を図るとともに、社会全体における情報化の推進及び道路資産の有効活用を図ることを目的として、国土交通省が管理用として敷設した道路管理用光ファイバの民間開放制度や、情報関連機器の設置等に係る占用制度における運用上の課題を整理し、改善方策・利活用促進方策を検討し、提言を行いました。

◇◆編集後記◆◇

9月も半ばを過ぎて、ようやく猛烈な暑さも少しずつ和らぎ始めています。今年はこの酷暑のせいで季節感覚が失われがちですが、そろそろ秋の足音が聞こえてきそうですね。

さて、9月といえば、毎年9月1日は防災の日です。防災の日は1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災に因んで設けられ、また、この日を含む1週間を防災週間としています。

皆さんは災害に対する準備をしていますか？

心配性な私は、自宅での備えだけでなく、個人的にも職場の机の下に1つリュックサックを置いています。タオルやマスク、少量の非常食などに加えて自宅まで徒歩で帰るといふ事を想定し、スニーカーを1足入れてあります。スニーカーでなくとも、履き慣れた靴を1足準備しておくと思えます。

震災等の災害に見舞われた場合、支援物資が到着するまで、大体2～3日はかかるようです。1人につき約3日分の非常食を備えて置く事が大切かと思えます。昔は「非常食」と言えば、「乾パン」が定番でした。しかし、最近では、お菓子メーカーが参入するなど、電気も熱湯も使わず、発熱材で簡単に温められるカレーライスや牛丼などが開発されているようです。

避難生活は、想像以上のストレスがかかると思います。そのような状況下で、温かい食事をとる事ができれば心のケアにもつながるのかも知れません。(K)